

## 幾何公差入門講座進捗管理表

部署名	
氏名	

	講座タイトル	講座概要	達成目標	再生時間	学習の目安	受講予定日	受講完了日	レポート PDF	レポート word	練習問題	管理者 チェック
第1章	<a href="#">幾何公差とは何か？前提知識を理解する</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幾何公差とは</li> <li>サイズ公差と幾何公差の違い</li> <li>幾何公差が必要な理由</li> <li>幾何公差のメリット</li> <li>幾何公差の考え方</li> <li>幾何公差を測定する測定機</li> </ul>	サイズ公差と幾何公差の違いについて理解する。日本国内であまり幾何公差が使われていない理由と、海外で使用されている規格を理解する。「不具合が発生するリスクを減らす」「製造コストを削減する」など幾何公差のメリットを理解する。	30分54秒	1日目			<a href="#">download</a>	<a href="#">download</a>	未実施	未実施
第2章	<a href="#">幾何公差の基礎と全体像</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>形体とは</li> <li>幾何公差の種類</li> <li>幾何公差の図示方法</li> <li>公差域について</li> <li>幾何公差の付加記号</li> <li>幾何公差の特記記号</li> <li>普通幾何公差</li> </ul>	外形形体と誘導形体の違いについて理解する。「形状公差」「姿勢公差」「位置公差」「振れ公差」の違いについて理解する。単独形体と関連形体の「図示方法の違い」を理解する。普通幾何公差の指示方法を理解する。	27分50秒	2日目			<a href="#">download</a>	<a href="#">download</a>	未実施	未実施
第3章	<a href="#">幾何公差の基準（デーラム）を理解する</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>デーラムとは</li> <li>デーラム形体</li> <li>デーラムの設定方法</li> <li>デーラムの図示方法</li> <li>デーラム系</li> <li>デーラムの優先順位</li> <li>デーラムターゲット</li> </ul>	幾何公差を学ぶ上で重要な考え方となる「デーラム」を理解する。デーラムが指示されている「実際の形体」であるデーラム形体を理解する。デーラムとデーラム形体、実用デーラム形体の違いを理解する。	35分10秒	3日目			<a href="#">download</a>	<a href="#">download</a>	未実施	未実施
第4章	<a href="#">形状公差の使い方・表し方・測り方</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>形状公差とは</li> <li>真直度</li> <li>平面度</li> <li>真円度</li> <li>円筒度</li> <li>線の輪郭度</li> <li>面の輪郭度</li> </ul>	形体を単独で制御できる「形状公差」を理解する。真直度、平面度、真円度、円筒度、線の輪郭度、面の輪郭度を理解する。「形状公差域」の定義と「指示方法」を理解する。	47分21秒	5日目			<a href="#">download</a>	<a href="#">download</a>	未実施	未実施
第5章	<a href="#">姿勢公差の使い方・表し方・測り方</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>姿勢公差とは</li> <li>平行度</li> <li>垂直度</li> <li>傾斜度</li> </ul>	デーラムが必要となる関連形体の一つである「姿勢公差」を理解する。平行度、垂直度、傾斜度を理解する。「第2次デーラム」の使い方について理解する。「三次元測定機」で測定する具体的な手順を理解する。	26分03秒	7日目			<a href="#">download</a>	<a href="#">download</a>	未実施	未実施
第6章	<a href="#">位置公差の使い方・表し方・測り方</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>位置公差とは</li> <li>位置度</li> <li>同軸度</li> <li>同心度</li> <li>対称度</li> <li>線の輪郭度</li> <li>面の輪郭度</li> <li>幾何公差の関係</li> </ul>	形体の位置がどれだけ狂ってもよいかを指示する「位置公差」を理解する。位置度、同軸度、同心度、対称度、線の輪郭度、面の輪郭度を理解する。「形状公差の線の輪郭度」「位置公差の線の輪郭度」の違いを理解する。	32分05秒	9日目			<a href="#">download</a>	<a href="#">download</a>	未実施	未実施
第7章	<a href="#">振れ公差の使い方・表し方・測り方</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振れ公差とは</li> <li>円周振れ</li> <li>全振れ</li> <li>円周振れ・全振れの測定</li> </ul>	幾何公差の中で唯一「変位」を評価する「振れ公差」を理解する。振れ公差、円周振れ、全振れを理解する。円周振れ、全振れの計算方法の違いを理解する。	16分17秒	11日目			<a href="#">download</a>	<a href="#">download</a>	未実施	未実施
第8章	<a href="#">幾何公差の効果的活用法</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>包絡の条件</li> <li>最大実体公差方式</li> <li>最小実体公差方式</li> <li>突出公差域</li> <li>非剛性部品</li> </ul>	効果的に活用することでコスト削減につながる「付加記号」を理解する。包絡の条件、最大実体公差方式、最小実体公差方式、突出公差域、非剛性部品を理解する。加工した後の不良率を下げる事ができる「ゼロ幾何公差」について理解する。	49分21秒	13日目			<a href="#">download</a>	<a href="#">download</a>	未実施	未実施
第9章	<a href="#">ケーススタディで理解する幾何公差の利用</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ギアポンプとは</li> <li>歯車の設計</li> <li>シャフトの設計</li> <li>プッシュの設計</li> <li>ボデーの設計</li> <li>設計の確認</li> <li>カバーの設計</li> <li>ボディーとカバーの組み立て</li> <li>GD&amp;T(公差設計と幾何公差)</li> </ul>	ギアポンプの設計を題材にして、幾何公差の指示や公差設計ができるようになる。デーラムを設定する際の「考え方」について、ケース別で理解する。設計意図に沿った「幾何公差の指示方法」を理解する。突出公差域を使った「コストダウン」の方法を理解する。	22分40秒	15日目 ～17日目			<a href="#">download</a>	<a href="#">download</a>	-	未実施
第10章	<a href="#">演習問題（全18問）</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>演習問題12問（前半）</li> <li>演習問題6問（後半）</li> </ul>	9章までに学んだ知識を活用して、応用問題を解いていく。「MONO 塾オリジナルの演習問題」にチャレンジすることで、実践力を身につける。	全18問	19日目 ～20日目			<a href="#">download</a>	<a href="#">download</a>	-	未実施